

平成二十二年十月二十一日提出
質問第七八号

民主党政権における経済政策の失敗を証明した日本銀行の地域経済報告に関する質問主意書

提出者 木村 太郎

民主党政権における経済政策の失敗を証明した日本銀行の地域経済報告に関する質問主意書

去る十月十五日、日本銀行は十月の地域経済報告（さくらレポート）を発表した。それによると関東甲信越・東海・中国の三地域で、景気判断を下方修正した。これは、一年半ぶりの下方修正となった。また、東北経済産業局は東北六県の経済動向を、一年半ぶりに下方修正した。このことから、民主党政権がスタートして一年二ヶ月経過したが、景気回復に無策であることを証明したものと考ええる。

従って、次の事項について質問する。

一 日銀が発表した今回のさくらレポートを、民主党政権はどう分析しているのか。

二 一に関連し、日銀が発表したさくらレポートで、一年半ぶりに景気判断を下方修正したことを、民主党政権は深刻に受け止めるべきではないか。

三 政権交代して一年二ヶ月が経過したが、景気回復に向けた民主党政権の反省すべき点を、どう考えているのか。

四 景気回復に向けて我が自由民主党が、民主党代表選の始まった頃にまとめ、政府に提出した「緊急経済危機対策」をどう評価しているのか。

右質問する。